

# 日本語研修コース報告（2018年4月～2018年9月）

田中 信之

## 1 はじめに

大学院入学前予備教育日本語研修コースは、主として、文部科学省によって配置される大使館推薦国費研究留学生および教員研修留学生を対象とした日本語集中コースで、毎年4月と10月に開講し、各期15週間75日のコースを提供している。1999年10月に富山大学国際機構の前身である留学生センターが開設され、第1期日本語研修コースが開講した。2013年10月に留学生センターが改組、国際交流センターが設置された。2016年度から2017年度は大使館推薦国費研究留学生および教員研修留学生の配置がなかったため、日本語研修生は在籍しなかった。2018年には国際交流センターが改組、国際機構が設置され2018年9月に第34期生を送り出した。2018年度後期は教員研修留学生が配置され、日本語研修コースが開講されたが、コース開始直後、一身上の都合により辞退、帰国することとなった。本稿では2018年前期の第34期について報告する。

## 2 受講者

第34期は大使館推薦の国費研究留学生1人が受講した。修了者は表1のとおりである。

表1 日本語研修コース修了者（第34期）

期	名 前	国 籍	指 導 教 員
34	バットセンゲル ノミン エルデネ	モンゴル	富山大学 森田 洋行 教授

## 3 コース担当者

国際機構専任教員5人（小木曾左枝子、副島健治、田中信之、バハウ サイモン ピーター、濱田美和）と、非常勤講師4人（中野香保里、藤田佐和子、要門美規、横堀慶子）が授業を担当し、田中信之がコースのコーディネートをを行った。

## 4 コーススケジュール

第34期は、2018年4月10日（火）に授業開始、同年9月28日（金）に修了式を行った。授業は15週間75日の集中授業である。各期の主なスケジュールは以下のとおりである。

### <第34期>

2018年	4月4日（水）	コースオリエンテーション、ひらがな練習
	4月10日（火）	授業開始
	4月20日（金）	スタディー・エクスカージョン（となみチューリップフェア）
	5月18日（金）	スタディー・エクスカージョン（富山市民俗民芸村）
	6月2日（土）～6月3日（日）	ホームステイ
	7月30日（月）	授業終了
	9月28日（金）	修了式

## 5 コース内容

授業は月曜日から金曜日まで1日3コマ、あるいは2コマであった。レベルは初級で日本語の授業は「文法 A1」「聴解・会話 A1」「漢字 A1」の計3科目である。これらは日本語課外補講の授業と合同で開講される授業である。日本語科目は、基本的な日本語文法を習得し、運用できるようになること、文字についてもひらがなやカタカナ、基本的な漢字を習得することを目的として授業を行った。また、独自開発教材を用いて、正しい日本語の発音を身に付けるための指導も行った。

[使用テキスト] (主なもののみ)

＜初級クラス＞

- 文法 A1 『みんなの日本語初級 I, II』第2版 (スリーエーネットワーク)  
『みんなの日本語初級 I, II 書いて覚える文型練習帳』(スリーエーネットワーク)  
『毎日の発音練習』(独自開発テキスト)
- 聴解・会話 A1 『みんなの日本語初級 I, II 聴解タスク 25』(スリーエーネットワーク)
- 漢字 A1 『(新版)BASIC KANJI BOOK VOL.1 基本漢字 500』(凡人社)

また、通常の授業の他に、学生の個人の習熟度やニーズに合わせた指導を行うために、「特別指導 A1」も行った。専任教員5人がリレー方式で授業を担当した。表2に第34期の時間割を示す。

表2 第34期日本語研修コース時間割

	1 (8:45 ~ 10:15)	2 (10:30 ~ 12:00)	3 (13:00 ~ 14:30)
月	文法 A1 (横堀)	文法 A1 (横堀)	漢字 A1 (小木曾)
火	文法 A1 (中野)	文法 A1 (中野)	聴解・会話 A1 (藤田)
水	文法 A1 (要門)	文法 A1 (要門)	特別指導 A1 (田中・濱田・小木曾)
木	文法 A1 (田中)	文法 A1 (田中)	特別指導 A1 (副島・バハウ)
金	文法 A1 (横堀)	文法 A1 (横堀)	

※網かけのクラスは日本語研修コース専用クラス、それ以外は日本語課外補講との合同クラスである。

## 6 成績評価

文法 A1 ではメインテキスト (『みんなの日本語』) に基づく定期試験を7回実施した。この定期試験は筆記試験 (文法, 作文, 読解), 聴解試験, 会話試験から構成されるものである。また, 漢字 A1 のクラスでは期末試験を実施した。コース修了時に, コース全体の成績判定を行い, コースへの出席率も含めた成績表を作成して, 受講者本人と指導教員へ通知した。

## 7 コース評価

日本語研修コースでは, コース改善に役立てるため, 学期終了時にアンケート調査を実施している。実施前に, 成績等には全く影響しないことを伝えた上で, アンケート調査票に記入してもらった。調

査項目はコース全体，日本語の授業の内容，テスト，宿題，特別指導，スタディ・エクサカーション，ホームステイの6項目である。回答方法は，5段階で評点をつけるものと，与えられた選択肢から該当する答えを選択するものがある。また，自由意見は日本語または英語で記入させた。

これまでアンケート調査の結果は公開してきたが，第34期生は1人のため，公開は差し控えたい。

## 8 おわりに

日本語研修コースは2018年9月に第34期生を送り出した。これまでに文部科学省からの配置学生等206人がこのコースを修了している。しかしながら，ここ数年，日本語研修コースの予備教育生は配置されない学期が続いた。今後は，文部科学省の方針次第だが，増えてゆく見込みは限りなく小さい。日本語研修コースにおける日本語科目数も減少したが，予備教育生が配置された場合には手厚く指導できる体制を維持していきたい。